

# 社会貢献活動続ける

全国の生コン青年部が一堂に会する全国生コン青年部協議会全国大会が2月10日に広島市内で開催される。同協議会の高橋佳久会長（高知県生コンクリート協同組合連合会青年部会長）に全国大会の概要や今後の青年部活動のあり方について話を聞いた。高橋会長は青年部活動を活性化させるため、地域と一体となった活動を行う環境整備が必要との考えを示している。

「大会の流れは記念講演と事例発表に主眼を置いた。事例発表では全国生コンクリート工業組合連合会認定共同試験場委員長の古井博氏（広島県生コンクリート工業組合技術委員長）に『ゼロエミッション達成に向けたスラッシュ水の有効活用』について、美建工業代表取締役の高田浩平氏（広島県生コンクリート工業組合若手協議会会長）に『ベトナムの現状とビケンベトナムの今』の2題について講演いただく。古井氏

には技術的な視点で、高田氏には経営の視点でそれぞれ今後につながるような事例発表を受ける。生コン業界の

は希望者のみだが、広島力ンツリー倶楽部で親睦ゴルフ大会を開く。——昨年は東京で

26道府県にあったが、景気状況などもあり休会が出て、現在は17府県まで減っている。これで良いわけではない。

「他地区への呼びかけは特に行っていないが、これ以上減らないようにという話はしている。」「若手なしではこの業界は発展しない。そのためにも、もっと若い人がこの業界動向に興味をもってもらいたいと思う。そういう意味では全国大会は勉強する場でもある。不確

## 全国生コン青年部協議会 高橋佳久会長に聞く



## 青年部 全国大会 地域一体で環境整備

「全国大会の概要からお願いします。」

□

「今年大会は広島県青年部が主体となり、2月10日に広島国際会議場で開催する。大会テーマ『地域の発展と環境』、サブテーマ『なまチャンまた一歩前進！』のもと、厳しい状況下にある生コン業

界を背負っていく我々青年部は、これから『どう生きて行くのか』『どうすれば生きていくのか』を真剣に考える。この大会を通じて情報の収集・発信を行い、経営者、指導者として次世代へ進む一歩となる大会にしたいと考えている」

「大会の流れは記念講演と事例発表に主眼を置いた。事例発表では全国生コンクリート工業組合連合会認定共同試験場委員長の古井博氏（広島県生コンクリート工業組合技術委員長）に『ゼロエミッション達成に向けたスラッシュ水の有効活用』について、美建工業代表取締役の高田浩平氏（広島県生コンクリート工業組合若手協議会会長）に『ベトナムの現状とビケンベトナムの今』の2題について講演いただく。古井氏

には技術的な視点で、高田氏には経営の視点でそれぞれ今後につながるような事例発表を受ける。生コン業界の

は希望者のみだが、広島力ンツリー倶楽部で親睦ゴルフ大会を開く。——昨年は東京で

26道府県にあったが、景気状況などもあり休会が出て、現在は17府県まで減っている。これで良いわけではない。

「全国大会の概要からお願いします。」

□

「今年大会は広島県青年部が主体となり、2月10日に広島国際会議場で開催する。大会テーマ『地域の発展と環境』、サブテーマ『なまチャンまた一歩前進！』のもと、厳しい状況下にある生コン業

界を背負っていく我々青年部は、これから『どう生きて行くのか』『どうすれば生きていくのか』を真剣に考える。この大会を通じて情報の収集・発信を行い、経営者、指導者として次世代へ進む一歩となる大会にしたいと考えている」

「大会の流れは記念講演と事例発表に主眼を置いた。事例発表では全国生コンクリート工業組合連合会認定共同試験場委員長の古井博氏（広島県生コンクリート工業組合技術委員長）に『ゼロエミッション達成に向けたスラッシュ水の有効活用』について、美建工業代表取締役の高田浩平氏（広島県生コンクリート工業組合若手協議会会長）に『ベトナムの現状とビケンベトナムの今』の2題について講演いただく。古井氏

には技術的な視点で、高田氏には経営の視点でそれぞれ今後につながるような事例発表を受ける。生コン業界の

は希望者のみだが、広島力ンツリー倶楽部で親睦ゴルフ大会を開く。——昨年は東京で

26道府県にあったが、景気状況などもあり休会が出て、現在は17府県まで減っている。これで良いわけではない。

「今年大会は広島県青年部が主体となり、2月10日に広島国際会議場で開催する。大会テーマ『地域の発展と環境』、サブテーマ『なまチャンまた一歩前進！』のもと、厳しい状況下にある生コン業

界を背負っていく我々青年部は、これから『どう生きて行くのか』『どうすれば生きていくのか』を真剣に考える。この大会を通じて情報の収集・発信を行い、経営者、指導者として次世代へ進む一歩となる大会にしたいと考えている」

「大会の流れは記念講演と事例発表に主眼を置いた。事例発表では全国生コンクリート工業組合連合会認定共同試験場委員長の古井博氏（広島県生コンクリート工業組合技術委員長）に『ゼロエミッション達成に向けたスラッシュ水の有効活用』について、美建工業代表取締役の高田浩平氏（広島県生コンクリート工業組合若手協議会会長）に『ベトナムの現状とビケンベトナムの今』の2題について講演いただく。古井氏

には技術的な視点で、高田氏には経営の視点でそれぞれ今後につながるような事例発表を受ける。生コン業界の

は希望者のみだが、広島力ンツリー倶楽部で親睦ゴルフ大会を開く。——昨年は東京で

26道府県にあったが、景気状況などもあり休会が出て、現在は17府県まで減っている。これで良いわけではない。

「今年大会は広島県青年部が主体となり、2月10日に広島国際会議場で開催する。大会テーマ『地域の発展と環境』、サブテーマ『なまチャンまた一歩前進！』のもと、厳しい状況下にある生コン業

界を背負っていく我々青年部は、これから『どう生きて行くのか』『どうすれば生きていくのか』を真剣に考える。この大会を通じて情報の収集・発信を行い、経営者、指導者として次世代へ進む一歩となる大会にしたいと考えている」

「大会の流れは記念講演と事例発表に主眼を置いた。事例発表では全国生コンクリート工業組合連合会認定共同試験場委員長の古井博氏（広島県生コンクリート工業組合技術委員長）に『ゼロエミッション達成に向けたスラッシュ水の有効活用』について、美建工業代表取締役の高田浩平氏（広島県生コンクリート工業組合若手協議会会長）に『ベトナムの現状とビケンベトナムの今』の2題について講演いただく。古井氏

には技術的な視点で、高田氏には経営の視点でそれぞれ今後につながるような事例発表を受ける。生コン業界の

は希望者のみだが、広島力ンツリー倶楽部で親睦ゴルフ大会を開く。——昨年は東京で

26道府県にあったが、景気状況などもあり休会が出て、現在は17府県まで減っている。これで良いわけではない。

「今年大会は広島県青年部が主体となり、2月10日に広島国際会議場で開催する。大会テーマ『地域の発展と環境』、サブテーマ『なまチャンまた一歩前進！』のもと、厳しい状況下にある生コン業

界を背負っていく我々青年部は、これから『どう生きて行くのか』『どうすれば生きていくのか』を真剣に考える。この大会を通じて情報の収集・発信を行い、経営者、指導者として次世代へ進む一歩となる大会にしたいと考えている」

「大会の流れは記念講演と事例発表に主眼を置いた。事例発表では全国生コンクリート工業組合連合会認定共同試験場委員長の古井博氏（広島県生コンクリート工業組合技術委員長）に『ゼロエミッション達成に向けたスラッシュ水の有効活用』について、美建工業代表取締役の高田浩平氏（広島県生コンクリート工業組合若手協議会会長）に『ベトナムの現状とビケンベトナムの今』の2題について講演いただく。古井氏

には技術的な視点で、高田氏には経営の視点でそれぞれ今後につながるような事例発表を受ける。生コン業界の

は希望者のみだが、広島力ンツリー倶楽部で親睦ゴルフ大会を開く。——昨年は東京で

26道府県にあったが、景気状況などもあり休会が出て、現在は17府県まで減っている。これで良いわけではない。

「今年大会は広島県青年部が主体となり、2月10日に広島国際会議場で開催する。大会テーマ『地域の発展と環境』、サブテーマ『なまチャンまた一歩前進！』のもと、厳しい状況下にある生コン業

界を背負っていく我々青年部は、これから『どう生きて行くのか』『どうすれば生きていくのか』を真剣に考える。この大会を通じて情報の収集・発信を行い、経営者、指導者として次世代へ進む一歩となる大会にしたいと考えている」

「大会の流れは記念講演と事例発表に主眼を置いた。事例発表では全国生コンクリート工業組合連合会認定共同試験場委員長の古井博氏（広島県生コンクリート工業組合技術委員長）に『ゼロエミッション達成に向けたスラッシュ水の有効活用』について、美建工業代表取締役の高田浩平氏（広島県生コンクリート工業組合若手協議会会長）に『ベトナムの現状とビケンベトナムの今』の2題について講演いただく。古井氏

には技術的な視点で、高田氏には経営の視点でそれぞれ今後につながるような事例発表を受ける。生コン業界の

は希望者のみだが、広島力ンツリー倶楽部で親睦ゴルフ大会を開く。——昨年は東京で

26道府県にあったが、景気状況などもあり休会が出て、現在は17府県まで減っている。これで良いわけではない。

「今年大会は広島県青年部が主体となり、2月10日に広島国際会議場で開催する。大会テーマ『地域の発展と環境』、サブテーマ『なまチャンまた一歩前進！』のもと、厳しい状況下にある生コン業

界を背負っていく我々青年部は、これから『どう生きて行くのか』『どうすれば生きていくのか』を真剣に考える。この大会を通じて情報の収集・発信を行い、経営者、指導者として次世代へ進む一歩となる大会にしたいと考えている」

「大会の流れは記念講演と事例発表に主眼を置いた。事例発表では全国生コンクリート工業組合連合会認定共同試験場委員長の古井博氏（広島県生コンクリート工業組合技術委員長）に『ゼロエミッション達成に向けたスラッシュ水の有効活用』について、美建工業代表取締役の高田浩平氏（広島県生コンクリート工業組合若手協議会会長）に『ベトナムの現状とビケンベトナムの今』の2題について講演いただく。古井氏

には技術的な視点で、高田氏には経営の視点でそれぞれ今後につながるような事例発表を受ける。生コン業界の

は希望者のみだが、広島力ンツリー倶楽部で親睦ゴルフ大会を開く。——昨年は東京で

26道府県にあったが、景気状況などもあり休会が出て、現在は17府県まで減っている。これで良いわけではない。

若手の勉強の場には

「今後の青年部活動の考えをお願いします。」

「若手なしではこの業界は発展しない。そのためにも、もっと若い人がこの業界動向に興味をもってもらいたいと思う。そういう意味では全国大会は勉強する場でもある。不確